

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年2月20日

事業所名: 児童発達支援・放課後等デイサービスRふら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	86%	14%		活動スペース、学習スペース等をより快適に利用頂けるよう室内の整理・区分けに努めます。
	2	職員の配置数は適切である	86%	14%		利用者様を考慮したスタッフ配置を心がけております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	86%	14%		玄関・入口ともにスロープを設置しており、トイレ内等も手すりを設置しバリアフリー化を実施しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	57%	43%		今後終礼等の業務開始前後の打合せ時間を多くとり、日々の振り返り、目標への進捗等を職員と密に意見交換して参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%		今回が開業後初のアンケート調査でしたが、引き続き毎年実施して参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	83%	17%		今回が開業後初のアンケート調査でしたが、引き続き毎年実施して参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	同事業内の相談支援員にマメに意見を聞いております。	同事業内の相談支援員の方に定期的に意見交換、評価をして頂いております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	67%	33%		研修の年間計画表を張り出し、外部研修を周知し職員に自由に研修を受講できるよう努めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	86%	14%		定期的な面談だけでなく、利用者様や保護者様の日々のご意見・ご要望を伺い、サービス計画を作成するよう努めております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%		立案された活動プログラムを開所準備段階からいる職員で話し合い、内容を決めております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	71%	29%		活動プログラムを担当者を固定せず、スタッフを代えて企画・立案する事で固定化しないように努めております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	86%	14%		長期休暇にしかできないプログラムや、各滞在時間でできる課題を設定するよう努めております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%		利用者様の状況、利用日数等を考慮し、本人の負担が多くならないように個別・集団活動を組み合わせサービス計画を作成するよう努めております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	57%	43%		現在は個別に打合せをしておりましたが、今後終礼の打合せ時間を多くとり、日々の振り返り、目標への進捗等を職員と密に意見交換して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	86%	14%		全職員から見直しの必要性、意見をもらえるように、モニタリング、計画書共に確認した職員にサインを記載してもらっております。

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%			
----	---------------------------------	------	--	--	--

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86%	14%		サービス担当者会議には利用者様に精通した児童発達支援管理責任者が参加するように努めております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	71%	29%		就学前の利用者様の情報を支援員の方や利用されていた施設にも伺うように努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-		実績がございませんが、障がい福祉サービス事業等へ移行の際は支援内容の情報共有に努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	29%		支援センターの研修を受講した職員が、施設内でも職員研修として情報共有しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	29%	71%		コロナ世情もあり他施設との交流等も控えておりましたが、今後検討して参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	60%	40%		事業所連絡会に定期的に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	83%	17%		形式とした支援はしていませんでしたので、今後ペアレント・トレーニングの研修を職員で受けて施設内で共有し、実施できるように努めて参ります。
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	33%	67%		コロナ世情もあり保護者会等の開催を控えておりましたが、今後検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		定期刊行物や行事予定等を紙だけでなくスマホ等でも閲覧頂けるようにしております。	
	35	個人情報に十分注意している	100%		研修等を通じ日常的に大切さを伝えております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%	マジックショー等の利用者様以外の地域の方々にも参加頂けるようなイベント企画に努めて参ります。
----	------------------------------------	-----	-----	--

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86%	14%		半年毎に利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	86%	14%	研修を年2回以上実施しています。	年2回以上は研修の形で実施しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	86%	14%		アセスメントにおいて必要か等の判断をし、現段階では実績がございませんが、同意書等を用意し説明させて頂く準備はしております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%		アセスメントで伺った事を保護者様に確認し、書面にて職員に周知・徹底しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			